

(3) 新規系統の来歴及び特性の概要並びに新たに系統番号を付した系統の来歴及び特性の概要

○ 関東158号 (令和3年度新規)

1. 来歴

- 1) 系統名 関東158号 (旧系統名 作系71)
- 2) 交配組合せ 関東133号 × 関東142号
- 3) 用途 青果用

2. 特性の概要

1) 主な特性

萌芽性はやや良。いもの皮色は濃赤紫、肉色は淡黄橙である。いもの形状は楕円形で、大小は中である。条溝は微、裂開は無、皮脈は少で、外観は中である。上いも重はマルチ早掘栽培で「ベニアズマ」より低収、マルチ標準栽培で「ベニアズマ」並みである。蒸しいもの肉色は淡黄橙、肉質は中、黒変は中、食味は中である。病虫害抵抗性は、ネコブセンチュウにやや強、立枯病に中、つる割れ病にやや強である。貯蔵性は易である。本系統は、淡黄橙色の肉色で、低糊化温度のでん粉を含むため糖化しやすく、青果用かんしょとして有望である。

2) 育成地における栽培試験成績 (令和2年度)

① マルチ標準栽培の収量品質調査成績

品種・系統名	上いも重 (kg/a)	対標準比 (%)	上いも1個重 (g)	1株上いも数	切干歩合 (%)	いも			蒸しいも				
						外観	皮色	形状	肉色	肉質	Brix	黒変	食味
関東158号	272	93	185	3.7	35.4	中	濃赤紫	楕円	淡橙	中	29.6	中	中
標) ベニアズマ	293	100	252	2.9	38.2	中	濃赤紫	長方	黄	粉	19.6	やや多	やや上
比) 高系14号	215	73	222	2.4	32.0	中	赤紫	楕円	淡黄	中	22.8	中	中

② マルチ早掘栽培の収量品質調査成績

品種・系統名	上いも重 (kg/a)	対標準比 (%)	上いも1個重 (g)	1株上いも数	切干歩合 (%)	いも			蒸しいも				
						外観	皮色	形状	肉色	肉質	Brix	黒変	食味
関東158号	134	77	143	2.3	34.2	中	赤紫	楕円	黄	やや粘	26.8	中	中
標) ベニアズマ	174	100	168	2.6	37.0	中	濃紫赤	長方	黄	やや粉	22.4	やや多	やや上
比) 高系14号	113	65	138	2.1	33.2	中	赤紫	楕円	淡黄	中	15.2	中	中

③ 萌芽性、貯蔵性および病虫害抵抗性

品種・系統名	育成地		病虫害抵抗性 (育成地)			
	萌芽性	貯蔵性 (R1)	ネコブセンチュウ		立枯病 (香取)	つる割病
			場内 (谷和原)	現地 (香取)		
関東158号	やや良	易	やや強	強	中	やや強
ベニアズマ	中	難	中	中	やや強	中
高系14号	中	易	やや弱	やや弱	やや弱	中